



歌手相川七瀬さんが総社赤米大使に就任  
平成24年8月 第89号より



そうじや・宮城つ子基金の支援始まる  
平成23年7月 第76号より



メダリスト清水聡さんの祝賀パレード  
平成24年10月 第91号より



新谷仁美さんロンドン五輪出場  
平成24年8月 第89号より



障がい者千人雇用センターが始動  
平成24年5月 第86号より

当時の担当者は語る！

ロンドン五輪でボクシングバンタム級に出場し銅メダルを獲得した清水聡選手と、陸上女子5000mと1万mに出場した新谷仁美選手に、直接インタビューしました。2人ともとても気さくな人だったことが印象に残っています。2人はオリンピックでの活躍を機にテレビ番組に出演するなど、有名になり、自分にとっても貴重な体験になりました。

第86号～第97号担当 上野（税務課）



これからも『広報そうじや』を  
よろしくお願いします

創刊号から100号までの発行には12人の広報担当者が編集に携わってきました。毎月、担当者は『広報そうじや』が市民の皆さんに愛されるよう、また、市民と市役所とをつなぐ架け橋であるよう、工夫を凝らし作っています。このたび、記念すべき第100号を迎えられたこともご愛読いただいている市民の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。私たち広報担当者は、この歴史を引き継ぎ、さらに後世に残っていくものにしていきたいと考えています。そして、1人でも多くの人に幸せを届けられる「幸報」になるよう、努めてまいります。



夜間診療の当番医始まる  
平成21年5月 第50号より

当時の広報担当者は語る！

広報に異動してすぐのニュース。吉備医師会のおかげで現在の総社市の医療体制があるんだと思います。また、このとき取材に協力して下さった病院など広報紙はたくさんの人の力でできていると実感します。

第50号～第61号担当 石井（税務課）



ごみは増やさない！市民と約束  
平成22年11月 第68号より



三菱自動車購入に10万円補助  
平成21年4月 第49号より

当時の広報担当者は語る！

補助申請の様子を取材するため、受付開始30分前に商工観光課の窓口を訪ねると、申請の受け付けを待つ人で騒然とし、それを取巻く報道陣も今までにない多さでした。市長が1人目の申請を受け取ると同時に一斉にカメラのフラッシュがたかれたことを思い出します。まさに全国ニュース！初日は200件の募集に対して90件の申請がありました。

第38号～第49号担当 葛原（企業誘致対策室）



ご当地ナンバープレート導入  
平成23年2月 第71号より



地・食べ事業本格始動  
平成23年7月 第76号より

当時の広報担当者は語る！

このころは、新規政策を「いかに分かりやすく伝えるか」で、紙面づくりに知恵を絞り、「雪舟くん」や「地・食べ」では漫画も使いました。通算で72号分を担当。振り返れば、多くの人に出会い、協力していただき、総社の市民の力を数多く広報できたと思います。

第14号～第85号担当 河原（商工観光課）

雪舟くん運行開始  
平成23年5月 第50号より

